



特集 - 主役は、舞台裏にいる。

展示車両約 200 台、来場者約 2,000 人。その一日をつくる人たち。

30 台から、200 台へ。

展示会場いっぱいにずらりと並ぶ旧車、痛車、スーパーカー…。

7 月 5 日に開催され、道内外から展示車両約 200 台、来場者約 2,000 人を集めた「おらが自慢の車大集合」。今年で 9 回目を迎えたこのイベントは、最初から大きな催しだったわけではありません。

第 1 回目に集まった車は 30 台ほど。それから、中心となるメンバーが各地のイベントで開催を PR し、参加した人たちの口コミによって少しずつ車好きの輪が広がっていきました。

30 台から、200 台へ。

車にちなんだ新しい企画を立案するなど、成長を続けるその背景には、車好きのメンバーと、イベントを裏側から支える人たちの存在がありました。

9 回目

開催

約 200 台

参加車両

約 2,000 人

来場者

約 20 人

裏方

町に広がる、車好きの輪



今年はオーナーインタビューも

1日の舞台裏、3カ月前から準備

イベントを支える裏方スタッフは、総勢約20人。準備は開催直前に始まるわけではありません。4月から打ち合わせを始め、参加者の募集、会場の配置、出店者との調整、当日の役割分担などを一つずつ決めていきます。

開催前日には会場設営や備品の搬入。当日は参加車両の誘導や会場運営などに奔走します。そして、イベントが終われば撤収や後片付け。

さらに反省会では、参加者へのアンケート結果を基に、次回に向けた改善点を洗い出します。



打ち合わせ | 計画を詰める



前日 | 道具・備品を運ぶ



当日 | 参加車両を誘導

4月の打ち合わせから7月の反省会まで、会合は計5回！

- 4月 | 準備スタート 関係者による打ち合わせを開始。
- 5月 | 参加者・出店者を募集 商工会員や関係団体などへ参加を呼びかけ。
- 6月 | 会場づくりを具体化 会場配置や出店内容、スタッフの役割などを調整。
- 7月4日 | 前日設営 机や椅子、テントなどを搬入し、翌日の開催に向けて会場をつくれます。
- 7月5日 | 本番 裏方スタッフは車両誘導や会場運営など、それぞれの持ち場へ。
- 7月6日 | 撤収・後片付け 会場を清掃し、備品を確認して搬出します。
- 7月22日 | 反省会 良かった点や改善点を振り返ります。

これからも「オンリーワン」 のイベントへ

参加者には町内で使える商品券を配布し、地域経済への波及効果も期待されています。

今年は新たな試みとして、イベントステッカーの配布や愛車の表彰も実施しました。

幅広いジャンルの車が一堂に集まる、道内でも珍しいカーイベント。「車が人を呼ぶ」という思いから始まった、この町ならではの「オンリーワン」をつくる人たちは、次回の開催に向けて、すでに動き始めています。



展示車両を表彰した新たな試み